

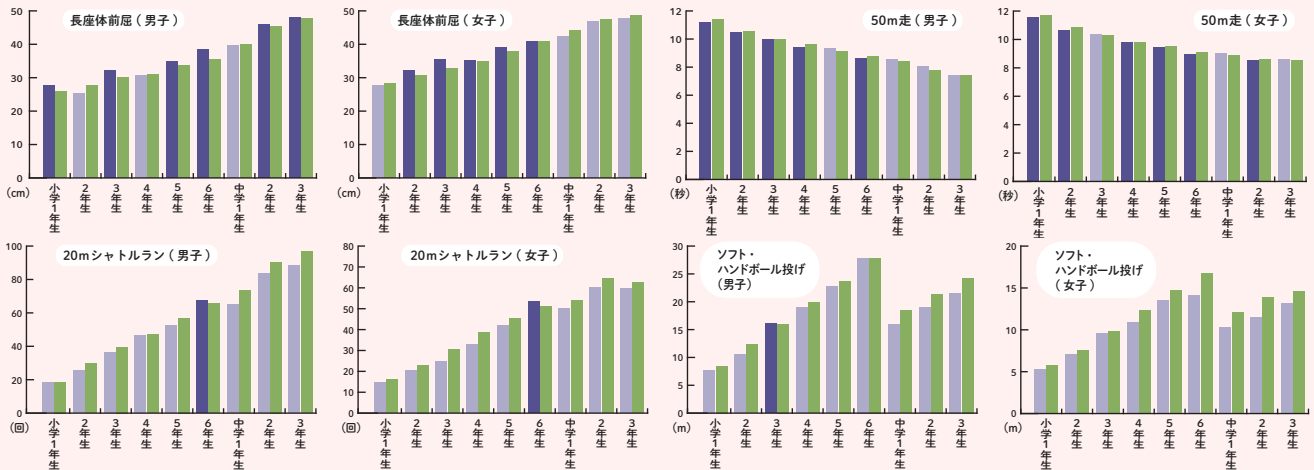
調査から見える 浦安っ子



▲ボールバスラリー

6人以上のチームで1つのボールを交替でパスし合い、3分間での回数を競って楽しめます。これは、体力づくり月間として、外遊びの奨励と児童の投げる力の向上を目指して行われました。(日の出小学校)

浦安市体力・運動能力調査 (令和元年度)

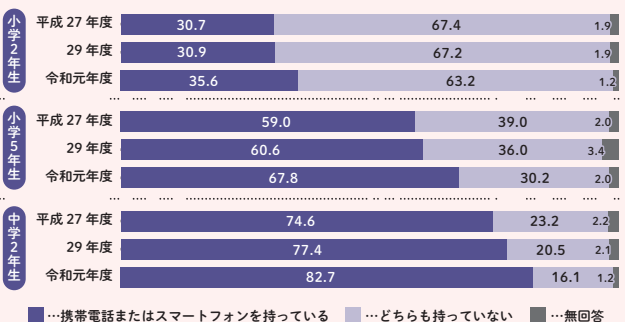


柔軟性を測定する長座体前屈と50mを走る力は全国平均を上回った学年が多く良好な結果と言えます。一方で、20mシャトルランやソフトボール・ハンドボール投げは全国平均を下回っている学年が多くなっており、全身持久力や投げる力の向上が課題となっています。

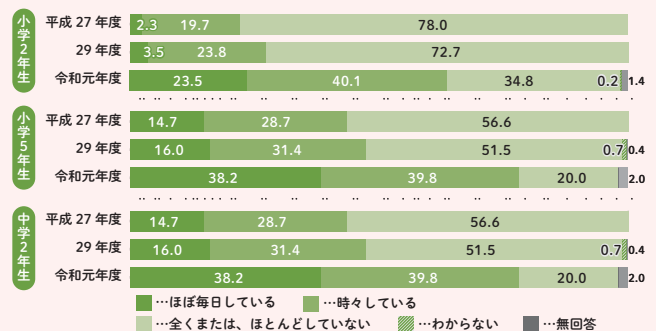
運動する楽しさや喜びを知ることが子どもたちの体力向上につながります。学校・家庭・地域で子どもたちが「楽しい！」と汗をかきながら体を動かす、そのような機会を設けていきましょう。

小中学校保護者及び教員の教育に関する意識調査 (平成27年度～)

Q. お子さんは、自分の携帯電話やスマートフォンを持っていますか



Q. お子さんは携帯電話やスマートフォンでメールやネットの利用(ホームページ、ネットゲーム等)をしていますか



小学2年生、5年生、中学2年生全ての学年で、携帯電話やスマートフォンを「持っている」と回答している割合が年々増えてきていることがわかります。

平成29年度と令和元年度を比べてみると、メールやネットを「ほぼ毎日している」と回答している割合は、小学5年生、中学2年生で2倍以上となっており、小学2年生については、約7倍に増えています。

小・中学校ではICT機器の整備を進めています。環境整備のみならず、その活用方法、使用する際のマナーやエチケットなども合わせて進めていくことが大切になると考えます。